



災害・事故 報告書

(第1報)

*速報の場合は(例:第1報・速報)と任意に付記する。

本社	営業所長	発行者

受信	令和3年12月16日(木)10時40分
災害(事故)の種類	感電・墜落・傷害・交通・停電・計器破損・第三者物損・ <u>その他</u> 作業形態:単独 <u>班</u> (3名)・施工中、施工後(施工日 年 月 日)
発生日時	令和3年12月9日(木) 午前 <u>午後</u> 3時30分 天候:晴れ
発生場所	場所:〇〇市〇〇町地内 電柱番号:〇〇ハ〇〇〇
罹災者(作業者)	直営 <u>専任班</u> ・協力班 協力工事店 A B C (男・女)(死亡・ <u>負傷</u>)
	所属:〇営業所 (〇)〇〇〇〇〇〇
	作業責任者A(罹災者) 氏名:〇〇〇 〇〇〇 満年齢50歳
	作業員B 氏名:〇〇〇 〇〇〇 満年齢20歳
作業員C 氏名:〇〇〇 〇〇〇 満年齢20歳	

<概要>

先方電気店様より『第一支持点(ポール)の位置を上にはずらしてほしい。』と現地にて依頼があり引き受けた。支持点のナットをラチェットで緩めるが固着しており、急に緩んだ際に体勢を崩しラチェットを落下させてしまい地上にいた作業者の肩に接触してしまった。

<発生状況>

- 12/9(木) 15:00 作業員3名(作業責任者A、作業員B・C)現場に到着。
 ↓
 公衆保安実施後、TBM-KYを実施し作業開始。
 ↓
 作業員B・Cでメッセンジャーワイヤーを新設。
 ↓
 作業員Bが第一支持点(ポール)まで高所作業車で移動。
 ↓
 地上にいた作業責任者Aが先方電気店様より『第一支持点(ポール)の位置を上にはずらしてほしい。』との依頼を受け、作業員Bにその旨を指示。
- 15:30 作業員Bが支持点のナットをラチェットで緩めるが固着しており、作業責任者Aが他の工具を渡すためバケットの下に入った。
 作業員Bはラチェットで作業を続けており、ナットが急に緩んだ際に体勢を崩しラチェットを落下させてしまい地上にいた作業責任者Aの肩に接触してしまった。
- 16:30 作業責任者Aと作業員B・Cで残りの工事を終わらせた。
- 17:00 帰社後、社長の〇〇〇〇に事故報告をし、作業責任者Aは病院へ向かった。

<原因>

- ・ポール側のコーン、チェーンの設置を怠ったため。
- ・高所作業車の下に入る時に声掛けをしなかったため。
- ・高所作業車の下に人が居る時に作業を続けてしまったため。

<対策>

- ・ポール側のコーン、チェーンの設置を忘れずに行う。
- ・高所作業車の下に入る時は高所側に声掛けをし、返事を待ってから入るようにする。
- ・高所作業車の下に人が居る時は作業を中断する。
- ・工具等の落下防止用の紐やチェーンを取り付ける。

<当日の服装>

作業服上下、編み上げ安全靴、ヘルメット、作業手袋

<使用工具>

ラチェット

処置	12/14(火)病院の検査にて左肩骨折及び右肩脱臼との診断。 ギプスでの固定はなく、リハビリ通院にて治療継続。 休業 日、全治 日の見込み
備考	